

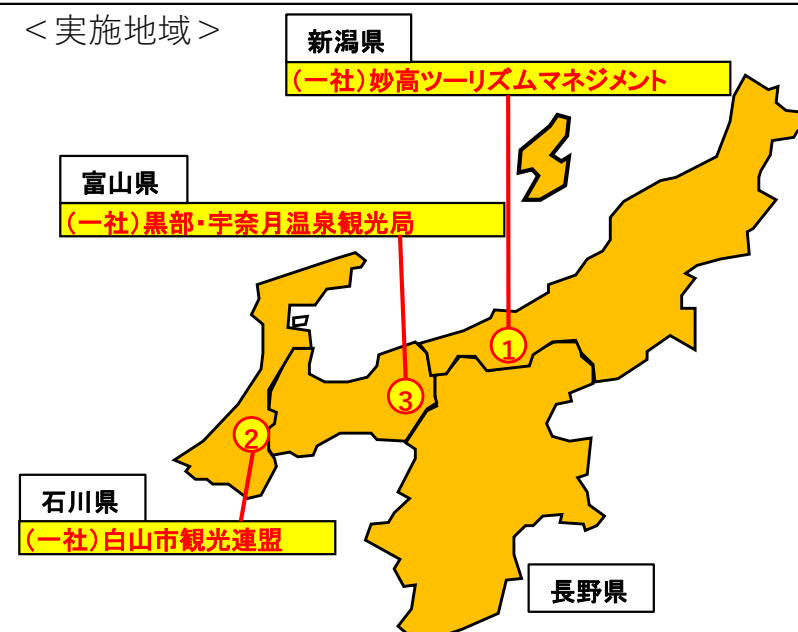
令和6年度DMO伴走支援事業「DMO認定ガイド制度設計及び観光ガイド育成支援」概要報告

- 北陸信越地域には、地域の歴史文化・自然・暮らし・伝統等を感じられる観光コンテンツが豊富にあるものの、地域の魅力を伝えるローカルガイド不足や統一基準等によるガイドの質担保の必要性を指摘する声があがっているところ。
- ローカルガイドの持続的な確保に伴うインバウンド誘客の促進に向けて個別課題を抱える3つのDMOへの伴走支援を通じてそれぞれの課題解決を図るとともに、そのノウハウを汎用化し、DMO全体の機能強化につなげる。

事業概要

- ▶ **テーマ：**観光人材育成（ガイド）
- ▶ **実施地域：**①新潟県妙高市、②石川県白山市、③富山県黒部市
- ▶ **事業内容：**
 - ・ DMOによるガイド管理体制の構築及びガイド認定制度の検討
 - ・ 情報発信の強化
 - ・ ガイド育成指針及び留意点のとりまとめ
 - ・ ガイド育成支援
 - ・ ガイド育成に関する有識者の派遣
 - ・ 結果とりまとめ及び最終報告会の開催
 - ・ マニュアル及び報告書の作成

<実施地域>



全体まとめと今後の展望

▶全体総括

ガイドに係る課題は実施3地域それぞれの地域の環境等により異なるが、インバウンド誘客の促進に向けたガイドの持続的な確保という観点に鑑み、各地域で親和性のある解決策の検討として「認定ガイド制度設計」や「観光ガイド育成支援」を行ったところ。それぞれ現地調査や関係者との調整、検討会の実施、有識者からの知見共有等の共通するプロセスを経て、課題解決に向けた指針案を策定した。

▶今後の展望

事業結果について、ガイドに係る類似の課題はもとより、その他の地域課題を抱えた全国のDMOにおいて課題把握及び解決プロセスを検討する上で参考となるものである。また、持続可能な観光に向けた事例という点においても、オーバーツーリズム対策（妙高市）、ブランディング戦略（白山市、黒部市）の参考事例となり得る。

令和6年度DMO伴走支援事業「DMO認定ガイド制度設計及び観光ガイド育成支援」概要報告

各地域における取組

妙高▶DMOによるガイド認定指針の検討（（一社）妙高ツーリズムマネジメント）

- ガイドの質の担保及び旅行者の安全確保に資するガイド認定制度の導入に向けた検討を開始した。
- 本年度はガイドに関する先進事例調査や、地域関係者へのヒアリング調査等を行うとともに、有識者等を構成員とするガイド認定制度検討会を立ち上げ、旅行者の安全基準に関する指針及びガイドの登録・認定制度に関する指針の素案についてとりまとめを行った。

<旅行者の安全基準に関する指針案（一部抜粋）>

- ・事前に想定される事故等のリスクについて、フィールド（地形）ごとに分けて整理のうえ、共通認識となるよう周知徹底する。
- ・ガイドやコンテンツ事業者等が実施するツアーやアクティビティの一元的な把握及びリスクマネジメントができるような管理体制を構築する。

<ガイドの登録・認定制度に関する指針案（一部抜粋）>

- ・妙高エリアにおけるアクティビティの分野ごとに、それぞれガイド環境が異なることから、多分野にわたる統一的な基準は設けないこととする。
- ・将来的には、認定されたプロ講師とその他講師との差別化を図り、スキースクールのブランドを担保していく。

白山▶DMOによるガイド育成指針の検討：（一社）白山市観光連盟

- ガイド団体による管理体制は充実しているものの、ガイド対象である体験コンテンツが必ずしも充実していない点を観光関係者が課題として認識していることがわかった。
- 本年度は当該観光関係者を対象とした白山エリアでの観光資源を巡るフィールドワークを実施することにより、各観光資源の可能性について改めて整理し、白山ジオプログラムにおけるプログラム・ガイドのあり方（案）を取りまとめた。

<白山エリアにおけるガイド育成指針案（一部抜粋）>

- ・ガイドの知識・スキル、地域のストーリー台本といったものが、認定ガイドによって習得・体現され、エリアごとに品質の担保されたガイドによって白山の魅力が紹介されている状況を目指す。



ガイド認定制度検討会(妙高)



フィールドワーク研修(妙高)



フィールドワーク研修(白山)

黒部▶ガイド育成に関する有識者の派遣：（一社）黒部・宇奈月温泉観光局

- 地域の魅力を伝えるローカルガイド不足が課題。
- 魅力発掘プロデューサーの桜井篤氏を派遣し、生地地区・石田地区を中心に、まちの魅力の活かし方や集客方法、地域連携について研修会や意見交換を実施。
- 各地区が主体的に課題を抽出し、具体的なネクストアクションを宣言する成果が得られた。